



公民館まつり



2月16日 ゆめあるて



第 709 号

発行人●豊丘村公民館
館長 原 国人
編集人●長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所●龍共印刷株式会社

私たちの村

(3月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,340人
女 3,372人
総人口数 6,712人
世帯数 2,187戸

平成二十三年より「豊丘村ふるさと大使」として活躍いただきました丸山克俊先生が、一月十四日に六十九歳で逝去されました。生前のご尽力に感謝申し上げますと共に、ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。



先生を悼んで

豊丘村体育協会
理事長 吉田 裕

豊丘村体育協会には二十一年のクラブが加盟していますが、最も多くのチームが参加しているのがソフトボール関係の団体です。丸山先生には平成二十三年の五十五周年イベントでソフトボールの講習をしていたから、ソフトボール

をはじめとして、スポーツ全般に関して何度も御指導を頂きました。懇親会でも杯を傾けながら熱く語られたお顔を今でも思い出します。豊丘のソフトボールは今も未来も元気いっぱいプレーを必ずお見せできると思います。ありがとうございました。御冥福をお祈りいたします。

丸山克俊先生ご逝去

ふるさと大使



仲間と共に 公民館まつり

毎年恒例となった公民館まつりに新たに三グループが発表に加わり、盛大に開催された。このまつりは、公民館グループが一堂に会して横の繋がりを深めることと、日頃の研鑽の成果を発表する場ということで開催している。

表現する楽しさ

林里一 峠 瑠璃

私たちフラマは、村内で結成されたフラダンスのグループです。大澤ヒサ子先生の指導の下、週に一度集まり細々と練習を続けて十年が経ちました。結成当初は小さな子供を連れて、時にはおんぶしながらステッ

プを練習することもありました。母親同士で顔を合わせて楽しく練習することが何よりも気晴らしとなり、表現を楽しんでいました。公民館まつりは今年で二回目の参加となりました。手作りの美味しいお料理を頂きながら、素敵に生けられたお花の前で優雅な時間を過ごしました。

出演者のみなさんのはつらつとした姿を見て私たちも元気をもらいます。フラダンス発祥の地では昔から、文字の代わりに踊りを通して大切なことを人々に伝えてきたそうです。手話の様なハンドモーションは詩を表現し足のステップはそれを手助けしています。これに表情や全身の動作を組み合わせて感情を表現します。お客さんにも目で見えるコミュニケーションの世界に触れて頂けたのではないかと思います。これからも日々の生活の

公民館功労者表彰

唐澤幸恵

平成十年公民館事業で「木目込人形づくり教室」を開催。東京木目込人形師範会の資格を持つ唐澤幸恵先生を講師にお迎えし、月二回の指導にあたりました。生徒のみなさんは、東京木目込人形師範会の会員の資格も取られました。現在、三つの公民館グループの指導をされ、多い時には四十名ほどの会員が唐澤先生より指導を受けてきました。今回、諸事情により豊丘教室の幕を閉じることになりました。

唐澤先生におかれましては、二十一年の長きに亘り懇切丁寧な指導にあたりました。

教育委員会文化・スポーツ表彰

豊丘中学校駅伝部

顧問 江木孝太郎
部員 小野寺研斗

米山元章 酒井源太
菅沼心太 長沼康介
坂巻譲太

第十三回北信越中学校駅伝競走大会 令和元年十一月二十三日 四十二位

（長野県順位十二位）
宮下莉瑚

第四十回北信越中学校総合競技大会 陸上100m走 令和元年八月六日 出場

西元由希音
第五十三回全日本社会人卓球選手権大会（熊本市総合体育館）令和元年九月六日 女子ダブルス 出場

敬称略
（公民館主事 松村佐織）

きました。更に開演中にもお客さまを飽きさせない様にと、ジャンケン大会等で会場を盛り上げて下さいました。先生の人間性の大きさにも感謝しているところです。

令和二年二月、豊丘村のふるさと大使をされていた丸山克俊先生ご逝去の報に接しました。誠に急な事であり、本当に残念な気持ちで一杯です。現在村で催しているとおか寄席について、先生には数年前から大変お世話様になり、中央と地方との橋渡し役として尽力頂きました。また、先生のご人脈に依り、三遊亭金時師匠をはじめ様々な方をご紹介いただき、大勢のお客さまを楽しませて頂

きました。更に開演中にもお客さまを飽きさせない様にと、ジャンケン大会等で会場を盛り上げて下さいました。先生の人間性の大きさにも感謝しているところです。

手帳には中毒性があると思う。毎年十月や一月、そしてこの季節になると自分好みの手帳はないものかと、書店めぐりをする。

手帳を一冊一冊手に取ってはめくり、「ここはいいが、これはダメ」と悩み悩みぬいてやっと運命の一冊を買うが、新しいものを見ると心が騒ぐ。特にこの季節が危険なのだ。ラストチャンスとばかりに手帳が書店に並ぶ。運命の一冊を持っているはずの私にささいにくる。「もつといい機能がありますよ」「この手帳ならいい人生をおくることができそうですよ」。

そこなのだ。いい手帳というより、いい人生を求めてそれを叶える手帳を永遠に探し求めているのだ。手帳の達人をみると、完璧なスケジューリングで仕事も家事も趣味もこなし、生き生きしているように見える。中には手帳に書き込むことが目的になっている人がいる。絵や字が上手い人はいのだから。

存在しないであろう完璧な手帳（人生）を求め、書店をさまよつた私がかかっている手帳病である。

そんな私に打撃を与えるのは、運命の一冊の手帳より、使いやすいものが百円ショップに売っていた時だ。

（小池淳子）

段丘

蛇川下流域三六災害体験談 (10)

豊丘南小学校の記録に残る三六災 その2

聞き手 原 章 (古畑)



現在の南小全景と蛇川

七月八日(土)晴
短縮三時間授業
集団登校始業九時三十分 弁当持参 二時下校引率 蛇川川

七月十日(月)曇一時雨
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十二日(水)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十三日(木)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十四日(金)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十五日(土)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十六日(日)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十七日(月)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十八日(火)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月十九日(水)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月二十日(木)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月二十一日(金)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月二十二日(土)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月二十三日(日)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

七月二十四日(月)晴
短縮授業
給食再開する
午前蛇川の水大量に校庭に浸水 自衛隊員来校 蛇川を自衛隊等ブルドーザー四台(内二台は川下)にて砂を両岸におし上げて寄せる(午前中)五時半すでに半分埋まる。果たして幾日保てるか

今年度の公民館学習会は、いかがでしたでしょうか。三月の学習会は、新型コロナウイルスでやむを得ず中止となり大変残念でした。この学習会の受講生は、百六十名です。月によって

公民館学習会

今年度のまとめと来年度の予定

ましまちですが、百名近いみなさまが受講いただいたております。お寄せいただいた感想をご紹介します。・月に一度の学習会、お話し、頭の体操、バスハイクと色々取り入れてくださり、本当に楽しい一年でした。友だちとも学習会の時に顔を合わせ、お互いの元気を確認しております。・学習会に参加して、多方面に計画を立ててくださり楽しいうえにも充実した時間を過ごせたことに感謝しております。六十半ばまで働き、八年間学習会に参加させていただき、今まで気になっていたことや、知りたいと思っていたことが分かってきたと思います。年を取っていくばかりですが、これからも身体が続く限り

令和2年度 豊丘村公民館学習会				
回	月 日	内 容	講 師	備考
1	5月11日(月)	「僕のふる里 紹介します」	ビル・オコナー氏 ナイジェル・ハイ氏	一般可
2	6月3日(水)	「素敵な折り紙の世界」	日本折紙協会講師 竹内 恵子氏	
3	7月13日(月)	「難しいけど大切な相続のお話」	飯田信用金庫資産アドバイザー 野島 典子氏	一般可
4	8月21日(金)	「道の辺の石仏に手を合わせる心と民間信仰」	郷土史家 酒井 幸則氏	一般可
5	9月15日(火)	「豊丘村の商工会について」	豊丘村商工会	一般可
6	10月9日(金)	バスハイク 安曇野方面	長野県童謡唱歌を歌う会 会長 清水 正則氏	
7	11月4日(水)	「頭と手足を動かしましょう」	南信教育事務所 吉澤 高志氏	一般可
8	1月8日(金)	「オリンピックから見る心の繋がり」	南信教育事務所 牧野 孝裕氏	一般可
9	2月3日(水)	「減塩教室 ～美味しくて身体に良い食事」	下伊那厚生病院栄養科長 梅村 尚美氏	一般可
10	3月3日(水)	第一部「出会い色々 人生いろいろ」 第二部「お楽しみ会」	民宿 宮のまえ 経営 柏木 ちづ子氏	

出席して自分の身になればと思います。来年度も楽しみにしております。みなさまのお気持ちに応え

るべく令和二年度も、より良い学習会を開催したく計画しました。六月、十月、三月以外は、受講申し込み

をされていない一般のみなさまも聴講できます。老若男女どなたさまも公民館へおこしください。

公民館登録グループ活動紹介 第22回

飛天の舞 花架拳

豊丘すいれん花架拳クラブ 吉川文字



平成二十年の公民館花架拳教室が始まりで、平成二十三年にクラブとして発足しました。花架拳とは、中国伝統武術の一つで、中国の古曲にのって「打つ・払う・かわす・蹴る」などの攻撃と防御の所作をしながら、鳳凰・天女・蓮の花・孔雀などになって優雅に華やかに舞うことです。練習は最初にゆっくり呼吸しながらストレッチや呼吸法で、入念に体をほぐし

ます。その後、練功十八法や花架拳を舞います。ゆっくりな呼吸で、気分もさわやかになります。現在会員を募集しています。是非一緒に舞いましょう。お待ちしています。

はアルコール好きであったことも影響して、体調を崩し易く、既に結婚していた恒子さんは、その都度看病することを余儀なくされた。その合間を縫って家の近くの電気部品製造会社の下請けに勤め家計の足しにした。父親は食べ物に贅沢で何かと注文が付き幼子を背負って食事の準備をするなど、多くの時間を取られた。そのためもあり子供は一人を産むのがやっとであった。その父親も五十六歳という若さで、そして母親は六十三歳で亡くなってしまった。以降は介護から解放されたが、結婚以来、苦勞のし通しだったとしみじみ語られた。

房男さんは運転手という仕事柄、アルコールは嗜まない。信南交通を辞めてから、子供の頃から興味のあった将棋を少しの間楽しんだ。また恒子さんは六十歳頃から大正琴を始め、一緒に練習に励んだ仲間とは今でも交流がある。

文責 桐崎 長一



塩澤房男さん
九十一歳
恒子さん
八十九歳
御夫妻 中芝在住

房男さんは昭和三年に山吹の柏原家で八人きょうだいの七番目の五男として、練習を行っていた。

平成二十年の公民館花架拳教室が始まりで、平成二十三年にクラブとして発足しました。

花架拳とは、中国伝統武術の一つで、中国の古曲にのって「打つ・払う・かわす・蹴る」などの攻撃と防御の所作をしながら、鳳凰・天女・蓮の花・孔雀などになって優雅に華やかに舞うことです。

練習は最初にゆっくり呼吸しながらストレッチや呼吸法で、入念に体をほぐし

恒子さんは五年に五人姉妹の長女として現在地の近くで生まれた。房男さんの兄四人は全員戦地に赴き、二人が無事帰還できた。高等科を卒業後、暫くはその兄と一緒に養蚕、米作、果樹などの農業を手伝った。結婚を世話する人の紹介により房男さん二十八歳の時、塩澤家に婿入りして恒子さんと結婚した。結婚前に大型自動車の運転免許を取得していた房男さんは、知人の世話により信南交通にバスの運転手として就職した。当時では大型免許は珍しく、会社で大いに重宝がられた。始めは近距離運転が主であったが、やがて長距離に移行し何泊かするような旅行対応が主となった。それに応

じて房男さんは仕事で全国各地を旅行できたが、恒子さんはその間、事故を非常に気遣い気の休まることはなかった。若い頃は決まった休日が無くとにかく働いて働いた。その見返りとして相応の収入はあったが、空虚感は拭えなかった。

房男さんは定年前まで勤めたが、知人の紹介により保育園及び小中学校生の登校送迎の仕事に転職した。小さな子供故に、いくら注意しても車内を遊び回る子供が多く、転んで怪我をするのではと常に心配していた。恒子さんはひたすら帰りを待つ身であったが、ある時、何時になっても帰宅しないので心配になり知人に相談、暗くなった通勤路を捜し回ったところ、道路端の未舗装部分にタイヤがはまり立ち往生しているのを発見、やつとの思いで脱出できたというトラブルがあり、本当に肝を冷やした。こんな気持ちは嫌だとして仕事を辞めるよう懇願したが聞き入れてもらえず、結局七十歳で辞めるまで続いた。その時に、やつと胸のつかえが無くなり心底安心した。一方理髪業の恒子さんの父親は、軍属として戦地へ出向きやがて終戦に伴い帰還。しかし職場が無くなってしまい職を失ったが、ある人の紹介により役場関連書類を配布する職に就くことができた。しかし父親

二人で乗り越え掴んだ幸福

シリーズ「元氣な高齢者」(65)

史学会総会

松尾多勢子に纏わる歴史秘話

史学会副会長

松下泰見

二月二十四日、豊丘史学会総会がゆめあるて大ホールで開かれ、次の新役員体制が決定した。

会長…横前 達
副会長…大澤俊郎
会 計…大原俊秀
監 事…毛涯雅明
片桐林三

事務局…唐澤武彦

森田勝二

総会に際して、長野県文化財保護指導委員の山内尚已先生を講師に迎えて「水戸浪士の伊那谷通過と松尾多勢子」と題する講演会が開かれ、八十人が聴講した。……幕末、尊王攘夷派と幕府を補佐する佐幕派が相克する動乱の時代に、松尾多勢子は国学を修め上京し、勤皇の志高く、志士らとの

交流を深めていた。

元治元年（一八六四）の春、水戸藩では尊王攘夷の過激派「天狗党」が筑波山で挙兵したが、保守派（諸生党）との戦闘で決定的に敗北し、浪士となった。その秋、上洛を決定し、太子を八百人で出発した。

水戸浪士は下仁田で高崎藩と、和田峠では松本藩・高島藩との戦闘で勝利し、下諏訪では、進路を、木曾路を避けて国学者が多い伊那路と決め、松島・北殿・上穂へと行軍した。座光寺村の国学者であった北原稲雄は、藤田小四郎に会うために上穂の宿に弟の豊三郎らを遣わせ、飯田城下の間道通過を懇願し、片桐宿では稲雄本人が赴き、同様の依頼をした（このことは、国学者の苦勞によつて飯田を戦火から防ぐことにつながる）。飯田では羽場から松川桜瀬を渡り伊那街道へ向かったが、飯田藩は大砲を

打ち、形式を整えた。

駒場では、多勢子の長男の誠らが、浪合を通らず清内路通行を依頼。浪士らは翌日、駒場から山本まで引き返して梨子野峠から清内路へ。清内路関所は藩の指示もあり、難なく通過し、上清内路に泊となった。馬籠から先は、尾張、犬山、大垣藩との対立を避けて、山岳路で敦賀を目指し、その年の暮れには加賀藩に投降した……。

講師の山内先生は、松尾多勢子について、突然の水戸浪士の伊那谷通過に際し、故郷に危害が及ばない策を国学者の士と相図らつて、表に出ることなく実践されたと考えられると、その偉業に敬意を表した。村内の歴史秘話を紐解いた有意義な講演であった。

なお、豊丘史学会の令和二年度の主な事業としては、飯伊の史跡めぐり（五月）、歴史講演会（六月）、史跡探訪（九月）、風土記発行の準備、古文書研究会などが予定されている。入会のお問い合わせは事務局の歴史民俗資料館（☎三五―九〇六六）まで。

今年で二回目となる「豊丘村古文書研究発表会」を二月九日に行いました。今

こちら資料館 202

幕府の巡見使が来た

①

回は「幕府の巡見使が来た」と題して立正大学大学院の仲泉剛さんが発表しました。「巡見使」とは江戸幕府が諸国の様子を監察するために派遣した役人のことです。領地ごとの状況をランクづけして報告させたので、「巡見使」の受け入れは領主・領民にとっては失態の許されない一大行事でした。

この「巡見使」は我が豊丘に江戸時代を通して八回来ています。今回は最後の

八回目となった天保九年（一八三七）の「巡見使」を中心とした発表でした。「巡見使」来訪の御触れが出ると数か月前から準備が始まります。まず「巡見使」の泊まる宿が指定されます。「巡見使」は旗本三名一組で構成されていますが、それぞれの家来がいるので一行の総勢は百名を超える大人数となります。天保九年は河野村の庄屋格の家三軒が宿になりました。それぞれ

の宿では家の修理、湯殿や便所の改修、畳替え等を行い宿泊に備えました。



発表会に来村した立正大関係者

（資料館主任 唐澤武彦）

（つづく）

コミュニティスクール、学校支援ボランティアに感謝！

二月二十六日、南小学校体育館では、コミュニティスクール（CS）で一年間お世話になった学校支援ボランティアを迎えて、まとめの会が開かれた（写真）。

CSは、児童生徒の「生きる力」の向上をめざして地域のボランティアが学校教育を応援する仕組みで、豊丘では、花壇の整備、学習支援、中学部活動、読み聞かせなどに百四十名余の村民の皆さんが活動している。

全校集会の後、先生とボランティアとの懇談があり、手芸の単元について先生からは、「ボランティアが入ってくれると子どもが張り切る。関わってくれるとうれしいんだと思う。教員一人だと目が届かないことがあり得るが、ボランティアがそばにいてくれると子どもが気軽に質問でき、手芸のコツがわかると、周りの子もやり始める」等、具体的な事例でボランティアの活動を評価する発言が寄せられた。

（公民館長 原国人）



北の大地にあこがれて

津田 孝平

1

二〇一五年から二〇一六年まで私は北極圏にあるノルウェーのカウトケイノウという町で生活していた。今回からの連載で日本では経験できない北極圏での生活を当時の写真とともに伝えられたらと思っています。

「わたしの地では『北』は方角ではなく、頭上にあるんだ。お世話になったヨハン・マハテ・エイラーは仕事の途中にそう教えてくれた。北極圏は地球のてっぺんに位置しており、北極圏の人たちにとって北は真上にある。このことを暮らしの中で意識することは少ないが、北極圏の位置から生じる「太陽の動き」については慣れることが難しかった。日本との太陽の動きの違いで有名な現象に「白夜」がある。夏至の日を中心に約一か月間、太陽が沈まない日々が続く。深夜十二時を回っても外が明るいのはとても奇妙な感覚におちいる。それでも現地の人々は太陽がでていることがうれしく、夜更かしをして外で遊びまわっていることが多い。子どもたちが張り切る。関わってくれるとうれしいんだと思う。教員一人だと目が届かないことがあり得るが、ボランティアがそばにいてくれると子どもが気軽に質問でき、手芸のコツがわかると、周りの子もやり始める」等、具体的な事例でボランティアの活動を評価する発言が寄せられた。



津田孝平

平成三年生まれ。淡路島生まれ東京育ち。大学を卒業後、東京から北極圏まで空路を使わず、陸路と海路を繋いでユーラシア大陸を横断。一年間の北極での暮らしを経て帰国。二年前に東京から飯田市に移住。慈恵園勤務。豊丘村公民館報編集委員。

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.194

ヒオドシチョウ
(タテハチョウ科)



動植物の和名はカタカナ表記。意味を知るのは漢字表記が分かり易い。緋緘蝶。〔緋〕とは「火」に通じる。赤々ともえる炎の色。〔緘〕とは緘の一種。炎の色をした緘をイメージしての命名。これは翅の表のことだが、裏はどうなっているのかという一転してめだたない暗い色彩。この極端なちがいはどうして

だろうか。ヒオドシチョウ特有の休眠（夏眠）にあるのではないかと私は想像する。じっとしている時は翅をとじているので裏側が出ている。これなら、めだたないで安全だ。ただ、夏眠に関する研究が必要だとのこと。

前号まちがいがありません。名前だけに申し訳ない。ナナツホシテントウではなく、ナナホシテントウ。（山田 拓）

最近では携帯カメラの性能が飛躍的に発達してきましたが、あのカメラって本当はズームレンズは付いていません。なぜ拡大できるかが不思議ですね。この意味は二本の指で大きくするデジタルズームのことなんです。いま最先端のスマホにはレンズが二つとか三つ（標準系と望遠系と広角系）着いていますね。ズームができないため、どうし

てもレンズはそれなりに多く必要となってきました。デジタルズームとは、基本の大ききのデータから大きくするため、スマホ内部で回りを切り取り表示しているんです。写真サイズは小さくしたデータで保存されるのです。それでも2.1ほどのラポ・プリントならかなり綺麗に仕上がります。

写す時のポイント、人物ならば最低限頭と足だけ

は切らないように写しましょう。そして周囲の写し込みは関係する景色だけだとめるのが、インスタ映えする写真となってきました。景色の中にボツンだけでは何を撮ったのか伝わりません。なるべく近くに寄ること、遠くても五メートル以内に撮りたい物を写すようにします。立体に見せるには、手前を大きく奥に行くに従い小さくしましょう。

写真／文 宮下正弘

柳

（豊丘村川柳クラブ豊柳会）

▼課題「転」 福沢勝美 選

責任の転嫁の先が見つからぬ 林 もも子
転んでもじっと見守る親の愛 西元 峯子
気配りで機転の効いたうそひとつ 小澤 凜

軸吟：九十坂七転八起越えて今

▼課題「風」 互 選

風雪に耐えた男の顔涼し 桃沢 健介
質問にどこ吹く風と蛙面 福沢 勝美
すき間風吹いて換気の安普請 久保ひろし

▼自由吟 桃沢健介 選

世に連れて免許返納意気消える 安田 喜子
ウィルスに桜問答助けられ 原 美風
憧れのクルーズ船が牢獄に 山本 義彦
軸吟：人や物の動きを止めるウィルス禍



…歌に演奏に、踊りもあでやかに…



2007.4.15 佐原御手形神社春祭
携帯でもカメラでも撮り方は
みな同じモノだけを写し込
みただけです。

いつでもどこでも気軽に
写真が撮れるようになり、
カメラの種類も豊富になっ
てきた昨今、機種選びにも
迷ってしまいます。写真の
撮り方って難しいの？とい
う質問にお応えして、ここ
では初歩からの撮影術を判
りやすい解説でお話して
いくことにします。

撮りテク

写真初歩
テクニック
Ⅱ



打ち叩く太鼓の響き寒の木瓜
梅三分心ころにほぐれけり
白梅や遣作花びんにほころびぬ
節分や夫は小声で豆をまく
梅の花部屋のぬくみに服らみて
初日待つ権現山の灯を望む
休耕の手溝の跡に芹を摘む
梅園の目の高きなるよき仕立
シベリアへ引鴨声を落しゆく
天竜川は琅玕の渦春立てり
亡き母の夢の短かし春一番
和毛なす芝犬の声春隣
四季の歌爪弾く手元風光る
娘への荷を香ぐはせる露のとう
涅槃図の剥落沙羅の花こぼす
人と人の間隔とりて春動く

俳句 短歌

磯部セツ子
田中 静
片桐 洋子
森田 恵子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
松岡 照子
宮下 公
宮下 純子
丸山 時子
池田 美和
矢島千勢子
河手 洋子
北原 昭子
林 恵美子

（とよおか短歌会）

図書館にて火坂雅志の著書見付け家康と左近の生きざまなぶ
松下 泰見

お隣へ回覧板を届けると五歳児初めてお使いをなす
筒井 恵子

対岸の処どころに煙り見ゆ果樹の枝焼きか霜の早朝
福澤貴美恵

晩歳は未だ残るやと思いつつ躊躇いもなくカラオケにゆく
大倉 知江

玄関に七分咲きたる白梅活けて野に出て行こう露の臺待つ
大原真由美

送るよと安請合いはしたものの店にはマスクども品切れ
松尾ヒサコ

余生はや少なくとも尽きるまで持ちたく思う歌詠むころ
毛涯百合子

果樹園にトンビが大きく輪をかけたばいたずらカラスは姿を見せず
北澤 秀子

「五家宝」とう和菓子ありて切り口が我が家に成りしオクラそっくり
壬生 千春

兵送り英霊迎へし飯田線無人駅舎に枯れ尾花揺れる
福澤 亀人